

ロープレース81 ライフ配信 10/8(土) JCDA振り返り まっちゃん

設問

[問い1] 合だったらどのような質問ができるのか?

- (1) 原さんは役職を解かれることについて、どのように感じていますか?
- (2) 原さんは今まで働かされてきた会社についてどのように思われますか?
- (3) 当然、定年まで務めると思っていたと思われていたのはどうしてですか?
- (4) 自分にしかできないと思われているのは、どうしてなのでしょう?
- (5) もし部長職をとかめたら、原さんはどのように感じられますでしょうか?
- (6) 優秀な人ってというのは、役職定年の対象外となった方がいいのでしょうか?

[問い2] 良かった点

事例Iの CCt10 (相応しい・相応しくない)

理由: 良かった点は、相談者の役職定年について納得がいかない感情等を化貞聴することで、急な話であったという思い等を伺うことができた。

悪かった点

事例IIの CCt11 (相応しい・相応しくない)

理由: 悪かった点は、相談者の部長職に対する思いと、定年まで今の仕事を部長として続けたかった理由を聴くことができなかったという点。

[問い3] CC視点の問題点

相談者の問題点は、以下の2点である。(1) 55歳で役職が解かれるということのみが相談者は把握できておらず、業務内容や給料の変化等の情報が不足している。その為、自社の役職定年制度の理解不足。(2) 会社から役職定年について急に話された為、納得がいかない、制度自体にも反対している等の発言より、会社から求められている役割についての理解不足があると考える。

[問い4] 今後の展開

相談者の役職定年制度に反対している感情を丁寧に化貞聴し、今後のキャリアを考える上で大切な、役職定年についての価値観の整理を促す。そして、人事部に対して改めて話をする支援を行い、役職定年制度を詳しく理解できるようにする。また、今回の話が決まった経緯についても聞き取ることも促し、会社の目的の理解を促進する。これにより、会社が求めていることを理解し、今後の役職定年についての向き合い方を主体的に決定できるよう支援する。